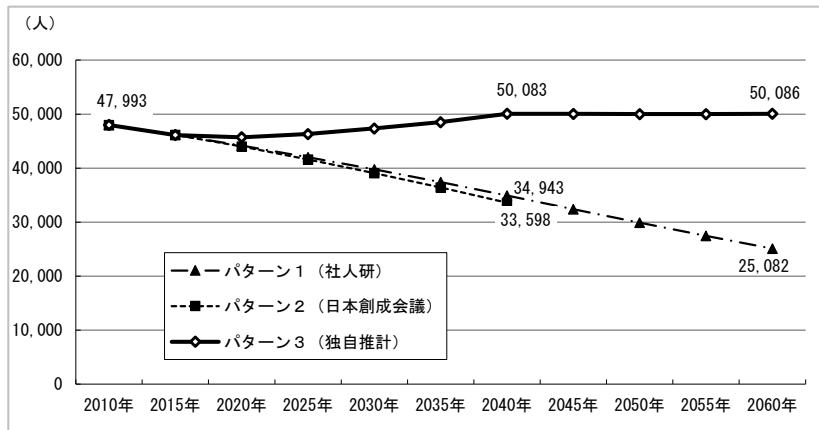


加西市地域創生戦略の全体像

～ 子育てにほどよい「便利な田舎」かさい ～

参 考

■加西市の将来人口推計

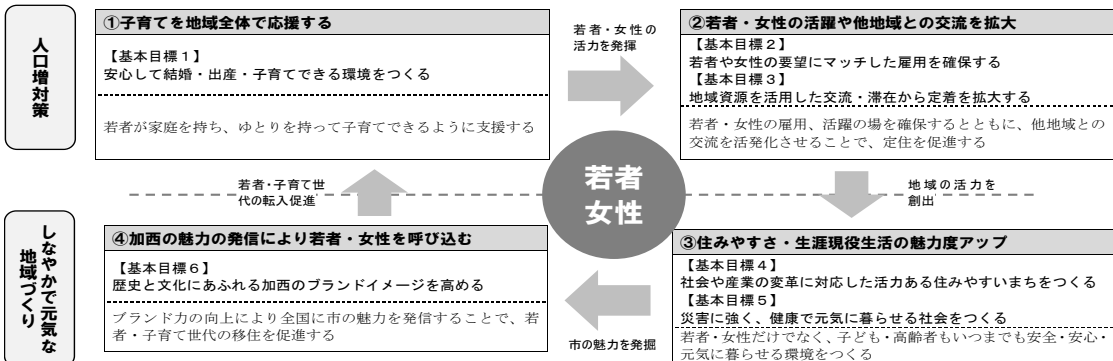


5万人都市再生に向けて
(パターン3)

加西市地域創生戦略の考え方

かさい住タイル＜若者・女性が元気 持続可能な循環型ライフスタイル＞の実現

- ①若者・女性の希望にマッチした子育てを地域全体で応援することで、若者・女性の活力の発揮につなげる。
- ②若者等の活力が発揮できる場所として雇用確保や地域の活性化を図り、他地域との交流拡大、移住・定住につなげる。
- ③地域の活力を生み出し、住みやすい、生涯活躍できる場を創出することで、誰もが長く暮らせる地域づくりを進める。
- ④ブランド力を向上させ、手厚い子育て支援や、住みやすい魅力を発信することで、若者・子育て世代の転入促進につなげる。



■加西市人口の将来の姿

2060年の目標 自律する永続的な水準5万人をめざす

- ①2020年目途に、早期の転出入均衡により人口減少に歯止め
- ②その後、自然減を補える社会増により2040年に5万人程度
- ③2041年以降、人口は5万人前後で安定的に推移

【自然増】子育て支援等を軸にした出生率の回復を想定(国並み)

2020年 1.6 2030年 1.8 2040年 2.07

【社会増】企業立地、農業活性化、ICTを活用した職場確保等によるU/Iターンの定着などにより社会増を図る。

加西市地域創生戦略における基本目標と成果指標の概要

① 基本目標1 安心して結婚・出産・子育てできる環境をつくる

目標区分	めざすべき姿	現状と課題	成果指標	成果指標の達成に向けた主な施策の展開
直接的な自然増効果	・切れ目のない結婚・出産・子育て支援 経済状況や住まいの状況に関わらず、家庭や子どもを持つことを望む若者が、安心して結婚・出産・子育てできる、切れ目のない支援環境が整っている ・多子世帯支援の充実 すでに子どもがいる家庭においても、希望する場合、2人目、3人目を出産し、育てられる環境が整っている ・地域を挙げた子育て支援 転入してきた子育て家庭に対し、地域を挙げた子育て支援が提供される環境が整っている	若者の有配偶率の低下が、全国・県よりも低い合計特殊出生率につながっていることから若者の未婚率改善の取り組みが必要	未婚率(25～34歳女性)	46.6%
		希望する子育て支援では、金銭的支援が多く挙げられており、出生数増加のためには、出産や子育てに係る経済的な負担の軽減が必要	合計特殊出生率	1.6
		キャリア形成や経済的な理由により女性の就労率が上昇しており、仕事と子育てを両立しやすい環境づくりが必要 また、子育てに相応しい良質な住環境の提供支援が必要	幼保児童数	1,300人

② 基本目標2 若者や女性の要望にマッチした雇用を確保する

目標区分	めざすべき姿	現状と課題	成果指標	成果指標の達成に向けた主な施策の展開
直接的な社会増効果	・市内就職の促進 高校・大学を卒業した若者が、地元である加西市内で希望する職種への就職、あるいは起業により、就労できる環境が整っている ・女性の就労支援の充実 子育て中の女性などが、希望する時期・職種に就労できる環境が整っている	以前より改善しているものの、若者の進学・就職を契機とした転出が続いており、就労環境の整備等により若者を市内に留める取り組みが必要	若者の残存定住率	80%
		市外に勤務している市民の割合が増加しており、地域経済の活性化のためにも、Uターン促進や地元雇用の促進が必要	市内事業所従業員市内居住率	50%

基本目標3 地域資源を活用した交流・滞在から定着を拡大する

目標区分	めざすべき姿	現状と課題	成果指標	成果指標の達成に向けた主な施策の展開
直接的な社会増効果	・観光中心の交流活動の充実 地域資源を活用しながら、観光を中心とした交流活動が活発に行われている ・若者の社会参画の促進 若い世代がまちづくりに参加しやすい環境が整っている ・市内居住支援の充実 加西市に興味を持った人に対して、市内の居住環境に関する情報提供や移住支援の取り組みが積極的に行われている	観光入込客数は増加傾向にあり、交流人口を定住人口に換える機会を増やすためにも、さらなる魅力の発信が必要	観光入込客数	年間100万人
		長年、転出超過が続いている中、拡大する市外から市内への人の流れをうまく捉え、確実に定住につなげていくことが必要	移住転住数	年間200件

④ 基本目標6 歴史と文化にあふれる加西のブランドイメージを高める

目標区分	めざすべき姿	現状と課題	成果指標	成果指標の達成に向けた主な施策の展開
魅力的なまちづくりによる社会増効果	・ブランド力の発信 自然や歴史、文化、特産品をはじめとした加西ブランドが全国的に注目され、U/Iターン者や交流人口が拡大している ・広域連携の推進 周辺地域と連携しながら、効率的な行政運営や、活気のある魅力的なまちづくりが進められている	観光入込客数は増加しているものの、県外転出者数が増加しており、加西市出身者はもちろん、全国に対して魅力発信の充実が必要	市ホームページ閲覧数	年間195万件
		市内への宿泊客数は減少しており、じっくりと市の魅力を味わいたいと思ってもらえるよう、積極的な情報発信を進めることが必要	マスメディアの登場回数	年間530件

③ 基本目標5 災害に強く、健康で元気に暮らせる社会をつくる

目標区分	めざすべき姿	現状と課題	成果指標	成果指標の達成に向けた主な施策の展開
魅力的なまちづくりによる社会増効果	・安全・安心の確保 住み慣れた地域で、安全・安心に暮らすことができ、災害時においても最小限の被害に抑えられる取り組みが行われている ・健康づくり・生きがいづくりの促進 子どもから高齢者まで、いつまでも健康で、いきいきと暮らし続けられるまちづくりが進められている	東日本大震災以降、安全・安心に対する意識が全国的に高まっており、地域における日常的な防災対策が必要	防災訓練・研修回数	年間71回
		高齢化に伴い、要支援・要介護認定率が上昇しており、健やかな高齢期を過ごすためにも、健康づくり・生きがいづくりに力を入れていくことが必要	要介護認定者割合	現行水準を維持

基本目標4 社会や産業の変革に対応した活力ある住みやすいまちをつくる

目標区分	めざすべき姿	現状と課題	成果指標	成果指標の達成に向けた主な施策の展開
魅力的なまちづくりによる社会増効果	・産業振興の推進 市内産業の活性化に向けて、時代の流れの変化に柔軟に対応できる支援が充実している ・住民によるまちづくりの推進 地域住民が中心となった、地域の活性化に向けたまちづくりが積極的に進められている ・地域資源の有効活用 地域資源が市民のニーズに応じながら地域活性化のために有効に活用されている	農業の衰退をはじめ、市内の就業者数の減少が続いており、農・商・工を担う市内企業・事業所等に対して、時代に応じた支援を行なうことが必要	製造品出荷額	5年間で10%増
			小売業年間販売額	5年間で10%増
			総就業人口	23,000人
			コミュニティバス系統数	10系統